

平成 25 年 5 月 27 日

各 位

マ ネ ッ ク ス 証 券 株 式 会 社
代 表 取 締 役 社 長 C E O 松 本 大

「MONEX 個人投資家サーベイ 2013 年 5 月調査」 投資家の関心は日本の金利動向と米国の金融政策

マネックス証券株式会社（以下「マネックス証券」）は、2009 年 10 月より、マネックス証券に口座を保有する個人投資家を対象に、相場環境に対する意識調査を月次で実施しております。

このたび、2013 年 5 月 17 日～20 日にインターネットを通じて実施したアンケート調査 1,419 件の回答結果を報告書にまとめました。マネックス証券チーフ・ストラテジスト広木 隆の総括と併せてご活用ください。

【調査結果要約】

(1) 米国株 DI^(※)、中国株 DI が大幅上昇

【日本株 DI】(2013 年 4 月) 69 → (2013 年 5 月) 67 (-2)

【米国株 DI】(2013 年 4 月) 40 → (2013 年 5 月) 65 (+25)

【中国株 DI】(2013 年 4 月) -46 → (2013 年 5 月) -27 (+19)

4 月から 5 月にかけて、日経平均株価が上昇している中、日本株 DI は小幅な減少にとどまりました。一方、米ダウ平均が高値を更新し投資家心理の改善を反映し、米国株 DI は 25 ポイントと大幅に上昇しました。また、中国株 DI も約 20 ポイントの大幅な上昇となりました。

(※)「上昇すると思う」と回答した割合 (%) から「下落すると思う」と回答した割合 (%) を引いたポイント

(2) 業種別魅力度ランキングは「自動車」が堅調

個人投資家が「魅力的であると思う業種」ランキングでは、「自動車」が 2 ヶ月連続の首位となりました。「機械」は前回調査 (2013 年 4 月実施) まで 3 ヶ月連続で順位を下げていましたが、円安を追い風に 9 位から 7 位へと順位を上げました。一方、順位を下げた業種は「銀行」(4 位→6 位)、「通信」(7 位→8 位)、「小売」(8 位→9 位) でした。

(3) 今後 3 ヶ月程度の米ドル/円相場の見通しは、ほぼ変化なし

今後 3 ヶ月程度の米ドル/円相場の見通しは 2012 年 11 月時の調査からほぼ変化がなく、7 ヶ月連続で円安を見込む向きが圧倒的多数を占めています。

(4) 個人投資家が注目するトピックは、米国の金融政策と日本の金利動向への注目度が急上昇

個人投資家が注目するトピックについて、「日本の企業業績」が前回調査から引続き高い関心を集めています。これに加えて、直近のFRBの出口戦略をめぐる議論や、今月に入り日本の名目金利が上昇していることを受け、「米国の金融政策」、「日本の金利動向」への注目度が急上昇しました。

(5) 米ヘッジファンド サード・ポイントの株主提案については見解が分かれる

今回の調査では、米国の投資運用会社 Third Point Offshore Investors Limited（以下「サード・ポイント」）が2013年5月14日に発表したソニーの映画・音楽事業分離提案の評価について問う設問を追加しました。サード・ポイントの株主提案については、評価する・評価しないと答えた人数がほぼ同数となり、日本の個人投資家の見方は分かれました。

(6) 新たな投資対象としてシェールガスに注目が集まる

サード・ポイントの株主提案と共に、新たな投資対象としてシェールガスに興味があるか否かをたずねました。「興味がある」との回答が約6割となり、多くの個人投資家がシェールガスを新たな投資対象先として注目していることがわかりました。

調査結果の詳細は、添付の別紙レポートをご参照ください。

【お問合せ先】

マネックス証券株式会社
営業企画部 PR担当 松崎 電話 03-6667-3551